



今年の冬は、観測史上過去2番目の暖冬だったようです。早いもので、3学期の終業式の日を迎えました。1年間を振り返って、いかがでしたか。みなさん、本当によく頑張りましたね。終業式でのみなさんの表情からも、今年が充実した1年であったことが伺われました。

さて、本年度は、with コロナ、アフターコロナを意識した卒業式が若草3校で実施されました。人数制限もなくなり、来賓の方や以前に担任されていた先生方が卒業式に来ていただけるなど、**若草ならではの卒業式**が戻ってきつつあります。みんなで卒業生をお祝いし、感謝と感動を体感できた若草3校の卒業式。式を終え、校長室に戻った時に「若草の卒業式って、すごいなあ！」と一人余韻に浸りました。

これもひとえに、ゴールを見据え、一生懸命練習に取り組んできた**若草3校の卒業生、在校生のみなさんの頑張り**。保護者のみなさまや隣接する施設のみなさまなど、**若草3校を支えていただいている方々の思い**と、私たち**教員の思い**が融合した「**ハーモニーの素晴らしさ**」を実感できる卒業式だからこそだと思います。改めて、みなさまにお礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、本年度は、文化芸術、スポーツなど様々な場面で、チャレンジできた一年ではなかったでしょうか。みなさんの活躍は校長室だよりで何度も紹介させていただきました。来年度も、みなさんにとって、さらに充実した1年になることを期待しています。

結びに、令和5年度も、保護者、ご家族、関係機関のみなさまにおかれましては、若草3校の取組に対しまして、ご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

来年度も引き続きよろしくお願いたします。4月には、元気な笑顔でお会いしましょう。



小学部・中学部・高等部 卒業おめでとう！

若草3校から、25名の卒業生が、未来に向かって進みます！

若草3校の高等部の卒業生として、本校3名、子鹿園分校1名、土佐希望の家分校3名の合計7名の皆さんが若草3校から巣立っていきます。この3年間でやるべきことにしっかり取り組み、大きく成長した卒業生のみなさん。立派でした。そして、これからも、「**自分の良さや強み**」を知り、それを磨き「**自分らしい豊かな人生を送れる**」ように取り組んでいただきたいと願っています。

また、小学部卒業生は、本校4名、子鹿園分校3名、土佐希望の家分校2名でした。中学部卒業生は、本校5名、子鹿園分校4名でした。これまでに頑張ってきた一つ一つの学びを、これから進む中学部や高等部での学習や生活にしっかりとつなげていただきたいと願っています。みなさんなら、きっとできます。新しい学部でもしっかり頑張ってください。

本年度の卒業式では、みなさんの **伝える言葉、笑顔や凛々しい表情** など、「一人一人の表現力の豊かさ」を感じました。「送辞」や「答辞」での **心のこもったメッセージ** は、会場のみなさんの心を揺さぶりました。在校生の「送辞」や「送る言葉」は、お世話になった卒業生への感謝と思いやりの気持ちが綴られています。それを受けての卒業生からの「答辞」も、在校生に対する優しい気持ちやこれからの自分の未来に対する覚悟、保護者のみなさんや学校の先生に対する感謝の気持ちを **自分らしさの表現力** で堂々とこたえているところが素晴らしい。着実に成長している卒業生一人一人の姿が見えた卒業式でした。みなさんの未来が、希望と幸せに満ちたものとなることを心から願っています。



令和5年度第2回学校運営協議会(若草3校)

令和6年2月22日(木)に、若草3校(本校、子鹿園分校、土佐希望の家分校)の学校運営協議会を実施しました。第2回学校運営協議会では、9名の委員のみなさまの参加もあり、たくさんの意見や感想をいただくことができました。ありがとうございました。

【はじめに】

今回は、会議の前に本校、子鹿園分校、土佐希望の家分校の取組の様子を動画や写真で見いただき、各校の教頭から説明する時間をとりました。1校あたり5分の短い時間でしたが、委員のみなさまには、学校の取組をイメージしやすかったのではなかったかと思われます。その後の協議にもつながる内容であり、委員のみなさまからいただいた、たくさんの意見につながっていると思います。次年度も、見せ方の工夫は必要です。

【学校評価】

会議では、校長から、「教育課程の質の向上」「教員の専門性の向上」「自律と社会参加につながる教育力の向上」「働き方改革」の4つの柱について、令和5年度の取組を報告し、評価をいただきました。会のまとめの際に、学校運営協議会の橋本会長から、「今回、委員の方からいただいたご意見を、先生方に伝えてほしい」というまとめをいただきました。

ここで委員のみなさんからいただいた意見の一例を紹介します。保護者委員の方からは、感謝の意見もたくさんいただきました。

- 若草3校の取組は**学校全体の取組**になっている。**バクトルを合わせて**取り組むことが大切で、そのかたちができているのが良い。
- 子どもに合った方法**や**子ども同士で協力**してできる工夫が授業にある。子どもも楽しめている。
- 土佐希望の家医療福祉センターから通っている。面会で会うたびに姉が**成長している姿**に驚かされる。
- 学校評価のアンケートで、関係者評価の中に「声かけや**待つことを大切**にしている」という声があった。子どもたちの行動を待つと進めていく実践は裏と思った。
- 「**多忙**」と「**多忙感**」とは違う。**組織的な動き**や**助け合い**も含めて、取り組まねばならない。一人一人の力が発揮できる学校経営が必要。
- 子どもたちの**楽しみ**を教えてください。子どもが**落ち着く状態**を教えてください。手段を多く見つけてもらいたい。

委員のみなさまからは、たくさんの肯定的な意見もいただき、学校経営を進めていくうえで大変励みになりました。また、課題もいただきましたので、令和6年度の取組に反映していきたいと考えています。**学校評価については、近日中にホームページでお知らせします。**

【重要】学年末、学年始め休業中の学校への連絡については、高知若草特別支援学校(088-894-5335)まで、よろしくお願いたします。※緊急の場合にも、同様に(学校:088-894-5335)連絡ください。